

2026(令和8)年度事業計画書

一般社団法人 日本医用画像工学会

[事業の概要]

定款に基づき、「医用画像工学及びこれに関連する研究の連絡提携をはかり、もって学術の発展と人類の福祉に寄与すること」を達成するため、以下の事業を充実した品質で実施する。

1. 学術大会、研究会、シンポジウム等の学術的会合の開催
2. 研究又は情報の国際交流
3. 学会誌その他刊行物の発行
4. その目的達成に必要な事業

より具体的には、以下の通りである。

第45回日本医用画像工学会大会を名古屋大学豊田講堂にて開催し、一般演題発表に加えチュートリアル講演会・ハンズオンセミナー・MIT誌大会査読付き論文制度・シンポジウムなどの企画を、例年通りの充実した内容で実施する。また、「JAMIT Frontier 2027」を他学会と共同で開催し、「JAMIT 若手医用画像工学シンポジウム: SAMIT2026」を開催し、論文誌「Medical Imaging Technology」Vol.44, No.3～Vol.45, No.2の5号を発行する。以上により、会員及び学術会合参加者への充実したサービスを提供する。更に、功労賞・功績賞・田中栄一記念賞・大会奨励賞の表彰を行い、2022年度から開始した新しい「医用画像工学ハンドブック」編集を進める。

① 学術的会合の開催に関する事業

1. 学術大会

第45回学術大会「JAMIT2026」を下記要領にて実施する。

- 大会名： JAMIT2026
- 大会長： 目加田 慶人(中京大学)
- 会期： 2026年7月5日(日)～7日(火)
- 会場： 名古屋大学 豊田講堂 シンポジオン
- テーマ： 未定
 - 特別講演
 - シンポジウム
 - 一般演題
 - 教育委員会企画
 - ◇ チュートリアル講演
 - ◇ ハンズオンセミナー

2. フォーラム

メディカルイメージング連合フォーラム「JAMIT Frontier 2027」を、電子情報通信学会 MI 研、医用画像情報学会、日本写真学会、日本生体医工学会 生体画像と医用人工知能研究会との共同により開催する。

- JAMIT Frontier 2027
- 会期：2027年3月に開催予定
- 会場：沖縄県青年会館

3. 若手学術シンポジウム

「第4回 JAMIT 若手医用画像工学シンポジウム: SAMIT2026」を下記要領にて実施する。

- 大会名：SAMIT2026
- 実行委員長：横田 達也(名古屋工業大学)
- 会期：2026年11月3日(火)～4日(水)
- 会場：名古屋工業大学 4号館 ホール
- テーマ：未定

② 国際交流関連事業

1. 他学会との交流

- IJCARS 特集号企画:国際学術誌 IJCARS の協力のもと、JAMIT2025 および JSCAS と連携した特集号企画を推進することで、他学会との交流を行う。

2. CARS 2026 開催協力

2026年7月2-5日で名古屋大学で開催される CARS2026 開催に協力する。

③ 学会誌その他刊行物の発行に関する事業

1. 論文誌の発行

- MIT 誌 Medical Imaging Technology を5号発行する。各特集タイトルは以下の通り。Vol.44, No.4以降の特集は、現在検討中であり5月末までに決定する。

1. Medical Imaging Technology Vol.44, No.3

『画像再構成におけるモデル駆動とデータ駆動の接点(2)』

2. Medical Imaging Technology Vol.44, No.4

『特集を予定』

3. Medical Imaging Technology Vol.44, No.5

『特集を予定』

4. Medical Imaging Technology Vol.45, No.1

『特集を予定』

5. Medical Imaging Technology Vol.45, No.2

『特集を予定』

2. 情報誌の発行

- JAMIT の発展に貢献することを主目的とし、非会員でも見ることができるコンテンツを発行し、MIT 誌に掲載する。

3. その他

- 医用画像工学ハンドブック:前 2012 年版ハンドブック以降の技術的進展、特に人工知能などの内容を新たに含む増補版を企画し、2026 年の発刊を目指して現在最終作業中である。

④ その他の事業

1. 委員会活動

- 本学会の事業(学術大会・フォーラム等の開催、機関誌の発行、その他)を遂行するために編集委員会、教育委員会、広報委員会、若手委員会、選奨委員会の各委員会活動を推進し、必要に応じて会議を開催する。

2. 教育に関する活動

- チュートリアル講演会:医用画像工学に関するトピックスや最新技術の習得を目的としたテーマを学術大会のプログラムとして企画する。
- JAMIT ハンズオンセミナー:医用画像における、人工知能研究に必要な基礎的なコンピュータソフトウェアの操作を、実際のコンピュータを用いて解説する。学術大会期間もしくはその前後において、5 回程度実施する。JAMIT チャレンジはハンズオンと併催して実施する。

3. 広報に関する活動

- ホームページの維持・刷新:法人化に伴い修正した規約等を、必要に応じて更新する。
- SNS 等による情報発信:X(旧 Twitter)で大会開催ならびに書籍・雑誌発刊に関する情報を発信する。
- YouTube 等によるコンテンツ公開:教育委員会と連携し、JAMIT 大会で収録された動画などの教育コンテンツを配信する。

4. 若手活性化に関する活動

- 若手活性化を目的とした「第 4 回 JAMIT 若手医用画像工学シンポジウム: SAMIT2026」を企画する。
- 若手委員会主導のシンポジウムを学術大会のプログラムとして企画・実施する。
- 若手活性化を目的とした有志による勉強会を企画する。
- MIT 誌「若手研究者による研究解説特集」に関する特集号に協力する。

5. 学会発行物の販売

- i. 医用画像工学ハンドブック(2012年版):引き続き在庫を販売するとともに、電子版の発行(下記、増補版と同時)を目指す。
 - ii. 大会チュートリアル講演 DVD :大会中の広報などを行い、引き続き販売を続ける。
 - 医用画像工学ハンドブック(新版)の発行に向けた準備作業 :前2012年版ハンドブック以降の技術的進展、特に人工知能などの内容を新たに含む増補版を企画し、2026年の発刊を目指して現在最終作業中である。
6. 表彰関係
- 第45回学術大会「大会奨励賞」の選出
 - 2025年度「田中栄一記念賞」(MIT誌論文賞)の選出
 - 功労賞・功績賞、名誉会員の選出
 - SAMIT2026・JAMIT若手セッションにおける各賞の選出
7. 運営体制関係
- 代議員選挙:2026、2027年度代議員選挙を実施する。
 - 役員選出:2026、2027年度役員選出を実施する。
8. 規程類の改定等
- 事業の円滑な運営、本学会の発展を目的として適宜見直す。
9. 総会
- 7月末までに社員総会を開催し、決算報告、事業報告、定款第12条に記載の事項等について報告し、承認を得る。
10. 理事会
- 理事会を年6回以上、開催する。
11. 会員集会
- 7月の学術大会期間中に会員集会を実施し、JAMITの各種表彰の表彰式等を実施する。

以上